

畜産とくトク情報

平成22年7月7日

(通算第120号)

問い合わせ先

長野県庁園芸畜産課

電話 026-235-7232

再び口蹄疫疑似患畜が確認されました

平成22年7月5日(月)に、宮崎市において17日ぶりとなる口蹄疫疑似患畜が確認されました。(前回:宮崎市、6月18日)

えびの市、西都市尾八重地区、都城市、日向市、西都市の清浄性が確認され、移動制限・搬出制限が徐々に解除されている中での発生です。

移動制限・搬出制限区域が解除され、中止されていた家畜市場も徐々に再開することが予想されます。当面は九州地方から家畜を導入する場合は、事前に家畜保健衛生所に連絡し、導入後の飼養管理等について相談して下さい。

今回の宮崎市での発生を受けて、宮崎県知事は、「安全宣言は当面できない」としていません。

侵入防止のための対策に万全を期すようにお願いします。

発生地域からの家畜の導入や車両、物品との接触には、引き続き注意して下さい。

口蹄疫相談窓口を設置しました

宮崎県における口蹄疫発生の長期化による不安等の相談を受けるため、農業改良普及センターに「口蹄疫相談窓口」を設置しました。

なお、口蹄疫の病性・消毒方法等に関するご質問や異常の通報は、従来通り家畜保健衛生所へお願いします。

経営等のご相談
はこちらへ

農業改良普及センター	電話番号	農業改良普及センター	電話番号
佐久	0267-63-3167	木曾	0264-25-2230
上小	0268-25-7157	松本	0263-40-1945
諏訪	0266-57-2931	北安曇	0261-23-6544
上伊那	0265-76-6841	長野	026-234-9536
下伊那	0265-53-0436	北信	0269-23-0221
県庁農業技術課	026-235-7220		

病性等のご質問、
異常の通報
はこちらへ

家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439
上田支所	0268-23-1630	松本	0263-47-3223
伊那	0265-72-2782	長野	026-226-0923
県庁園芸畜産課	026-235-7232		

口蹄疫は偶蹄類の伝染病であり、人に感染することはありません

家畜の暑熱対策。畜舎環境と飼養管理の両面から！

長期予報では、今年の夏は暑くなりそうです。家畜は体温が上がると採食量や受胎率が低下するなど暑さに弱いため、暑熱対策が必要です。

そこで、家畜の暑熱対策のポイントと簡易にできる畜種毎の対処方法を紹介します。

《畜舎環境対策》 …… 畜舎の温度を下げるために

畜舎の外回りの環境整備（片付け・草刈り等を行って風通しをよくします）をして、舎内に溜まった暑い空気を拡散させます。

家畜に直接送風・散水します。（ダクトファン・扇風機・細霧噴霧機等の利用）

西日が当たる側に樹木（植物）や遮光ネットを設置します。

畜舎へのスプリンクラー等での散水、寒冷紗の敷設、石灰等の屋根への塗布、等。

《飼養管理対策》 …… 採食量を下げないために

まず始めに、給与している飼料メニューと採食量のチェックをします。

家畜がエサをきちんと食べているか、冷たい新鮮な水が確保できているかを観察します。

場合によっては、給餌時間や給与回数を変更します。

新鮮で高品質な飼料を給与し、ビタミン・ミネラルの補給も欠かせません。

乳用牛

- ・乳用牛は舎内温度が27度を超えると乳量が激減すると言われています。上記の対策の他にトンネル換気やリレー式換気を設置して、舎内の温度を下げるように努めます。
- ・粗飼料給与は、採食後の熱量発生の低減のため、早朝及び夜間に優先的に給与します。
- ・パドックや放牧地がある場合は、積極的に夜間活用します。

肉用牛

- ・肥育牛が採食している飼料はビタミンA含量が低いため、採食量が低下する場合は、ビタミンAを添加した飼料やハイキューブおよびルーサンなどの良質乾草を給与します。

養豚

- ・育成豚への給餌は、不断給餌から制限給餌への切り替えを行い、涼しい時間帯に一気に食べさせるようにします。

採卵鶏

- ・採卵鶏は舎内温度が35度を超えると熱死が多発するとされていますので注意してください。産卵率の低下を防ぐためには、配合飼料に重曹とビタミンCを添加すると暑熱ストレス緩和に効果があります。